

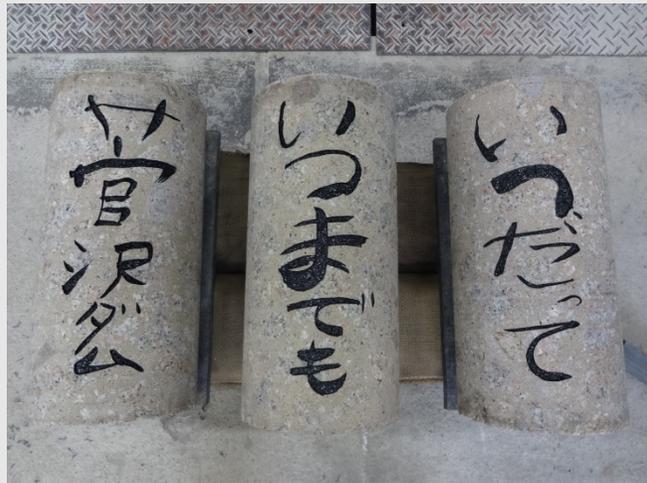
学校通信の紹介について

このたび、平成30年11月11日（日）に開催が予定されていた菅沢ダム完成50年記念式が中止となりました。

本式典の開催にも多大に御尽力され、志半ばで急逝された増原日南町長様におかれましては、心より御冥福をお祈り致します。

今回紹介させて頂く「日南小学校／日南中学校」の学校通信の中でお知らせされていまして、本式典に花を添えるべく、日南小学校の生徒さんから菅沢ダムへのメッセージについて考えて貰い、その言葉を刻んだ石（コンクリート）柱を制作しました。

日野川河川事務所としましては、これからも引き続き菅沢ダム周辺の地元の皆様方と連携を図りながら、ダム管理等を行っていきたくと思います。



平成30年11月9日(金)

日野川河川事務所

校訓 生き抜く力 ～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむを汗を ～



日南小学校／日南中学校



電話 (0859)77-1200 ファクシミリ (0859)77-1201
メール nichinan-e@mailk.torikyo.ed.jp

電話 (0859)82-1225 ファクシミリ (0859)82-1226
メール nitinan-j@mailk.torikyo.ed.jp

ふるさとへの愛着 意味ある学び ～菅沢ダム50周年～

日南小学校長 伊田 典穂

「日南湖」と親しみをもってよばれる「菅沢ダム」が、本年度、着工してから50周年を迎えるそうです。幼少期の頃、ダムの工事現場に連れて行ってもらったことを思い出しました。当時、生山からダムに向かう道は砂利道で、砂煙を立てながらぐるぐると大きなカーブを何回も曲がり車で登っていったことを思い出します。眼下に見える家を指さし、「この家が全部水の中に沈んでしまうんだよ。」と説明を受けた言葉を鮮明におぼえています。あれから50年が経過しました。

先日、菅沢ダムの管理者から、50周年を記念して、小学生に「菅沢ダム」という言葉をいれたメッセージを揮毫してほしいと依頼がありました。今年は、大宮地区から通う児童は一人です。子どもたちにとって、難しい宿題かなと思いつつも、50センチほどの石柱3本に刻まれるメッセージを全校児童に募集することにしました。

全学年から24名の子どもたちが、次のようなすばらしい言葉を生み出してくれました。

- 1年 ゆたかな 暮らしを すげさわダム・わたしも まもるよ 菅沢ダム
しぜんが いっぱい すげさわダム ・みずを カラフル 菅沢ダム
大きくて びっくりするね すげさわダム ・よろしくね これからも 菅沢ダム
- 2年 いつも しぜんな すげさわダム ・いつだって いつまでも 菅沢ダム
みらいへ つなぐ 菅沢ダム ・菅沢ダム 自然の中の オアシスだ
- 3年 思いで いっぱい 菅沢ダム ・水の量 いつも見ている 菅沢ダム
だんだん 菅沢ダム すっと先も ・しき おりおりの 菅沢ダム
- 4年 50周年 おめでとう 菅沢ダム ・ほくたちの 菅沢ダム いつまでも
流れ出る 川水きれいな 菅沢ダム
- 5年 菅沢ダム 今も未来も 郷土のために ・菅沢ダム 母の心で 見守り続けて
これからも よろしく 菅沢ダム ・ありがとう 永遠の未来 菅沢ダム
- 6年 菅沢ダム 日南の 宝物 ・50周年おめでとう 菅沢ダム
上流と 下流の絆 菅沢ダム

家族とともに、「菅沢ダム」について考えてくださった様子がよく分かりました。いかに「菅沢ダム」がその地域の子どもたちだけでなく多くの人々の心に大切な存在であるということを感じさせられました。「ふるさとへの愛着を育てる」きっかけとなった提案でした。

11月11日50周年を記念する式典があり、この中から選ばれた作品が、レプリカになり除幕式が行われます。

地域の理解と協力によって生まれた「菅沢ダム」は、下流の地域に住む人々に大きな恩恵を与えています。水という資源を上流に住む私たちが誇りをもって提供しているということ。水は日南町の誇りである森林のすばらしい恵みであるということ学ぶチャンスとなりました。